

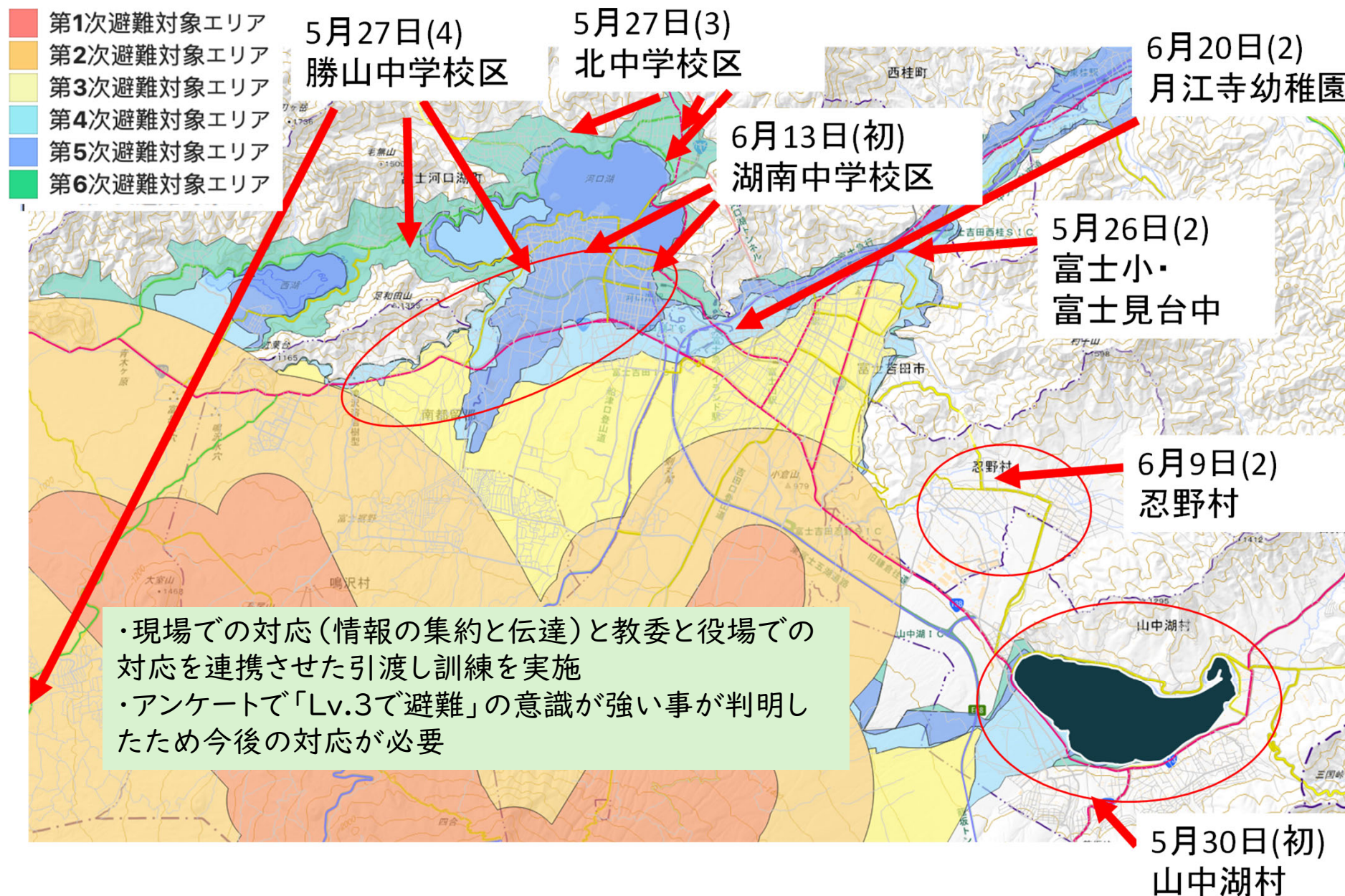


# 災害の軽減に貢献するための 地震火山観測研究計画（第3次）

## 令和7年度年次報告

山梨県富士山科学研究所  
富士山火山防災研究センター

## ・継続的な学校防災訓練の実施



## ・富士山版クロスロードの実践

### 火山灰に関する設問例

噴火して、火口が天神山付近であることがわかりました。噴煙が立ち上がっていることは見え、火山灰が降ってきそうです。自宅には車いすの祖母がいます。まだ市役所から避難指示は出ていませんが、避難しますか。

※噴火した状況なので、  
噴火警戒レベルは？

YES  
(避難する)

NO  
(避難しない)



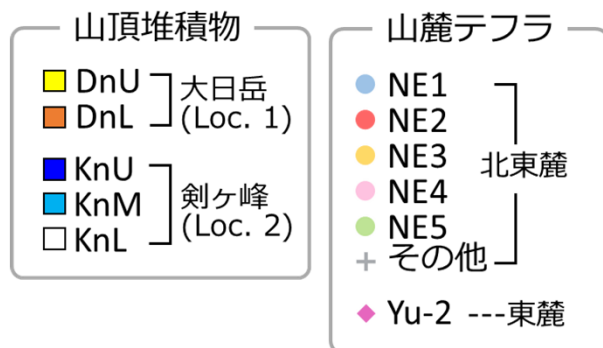
- ・これまでの設問に加えて降灰に関する設問を作成
- ・住民の総合的な火山防災リテラシーの向上を図る



## ・山頂堆積物と山麓テフラ層との対比による山頂噴火の再検討



山頂の調査地点

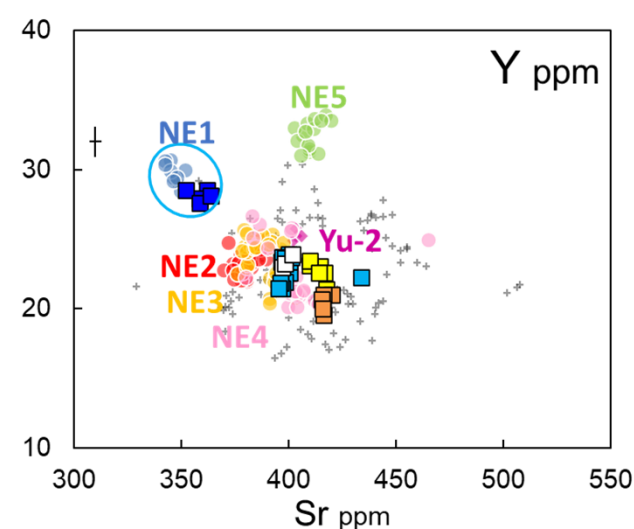
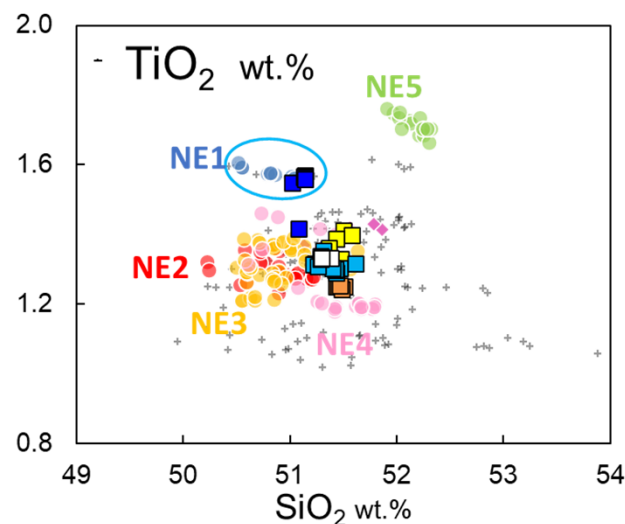


剣ヶ峰噴出物の産状



DnUとKnUが剣ヶ峰噴出物に相当

NE1とKnUは一致

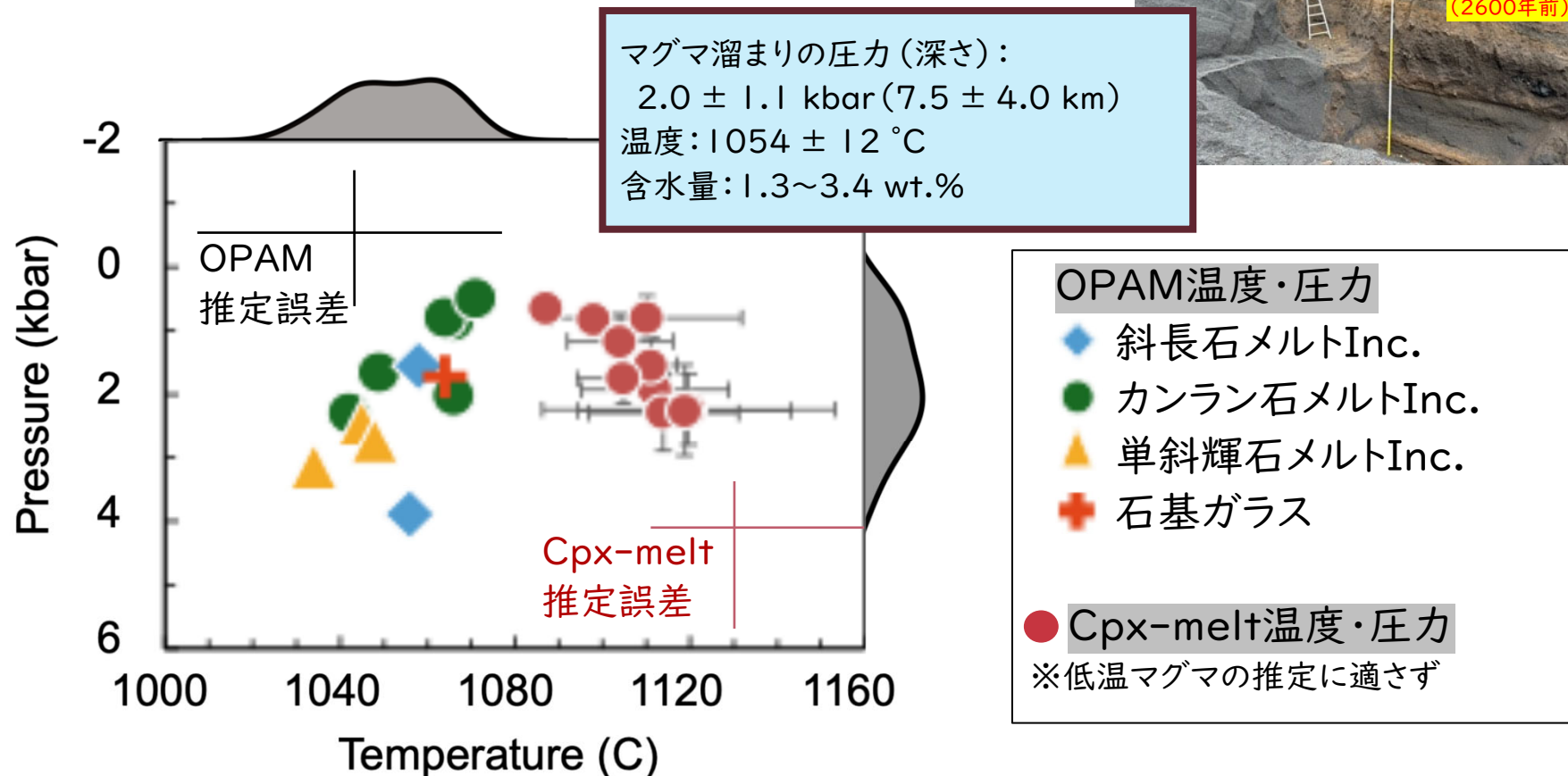


・最後の山頂噴火が2300年前よりも若い可能性(1200年前)が示唆される

## ・ 2.6 ka銀明水噴火のマグマ貯留条件の検討

- ・ 太郎坊においてトレンチ調査を実施
- ・ 銀明水噴出物から斜長石・カンラン石・単斜輝石を分離しガラス化学組成（メルト包有物、石基ガラス）を分析

太郎坊の露頭



低温で浅いマグマ溜りからの単独噴火を示唆

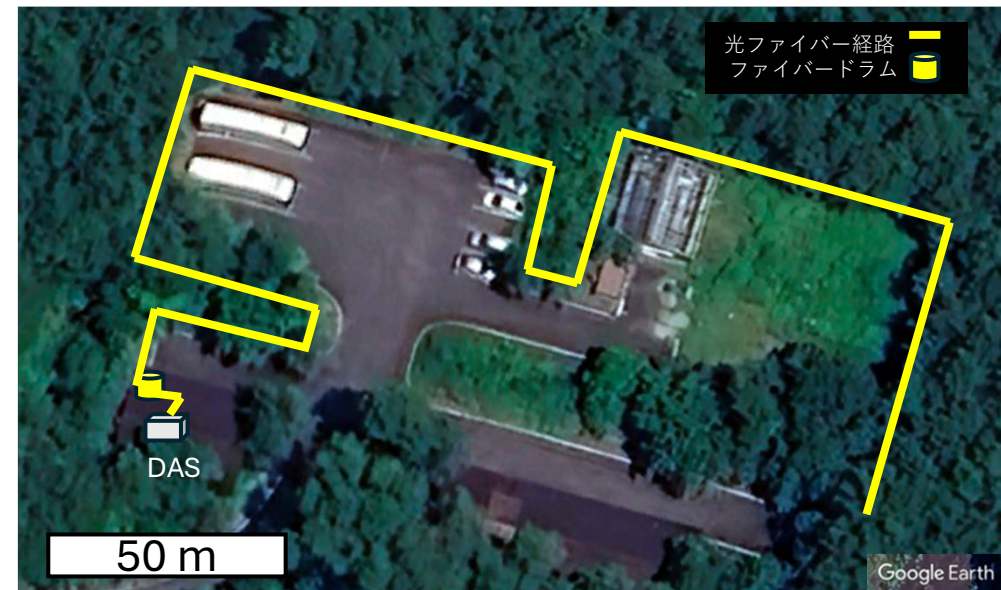


- ・観測（重力・空振・DAS）

- ・花火の空振観測



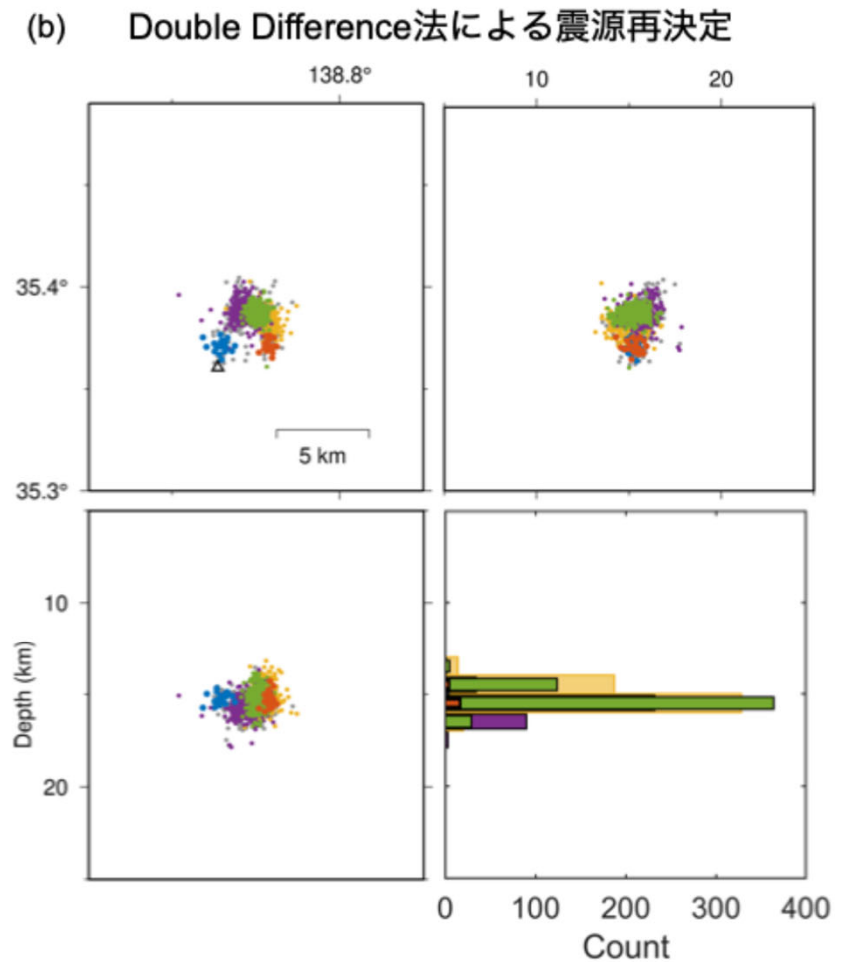
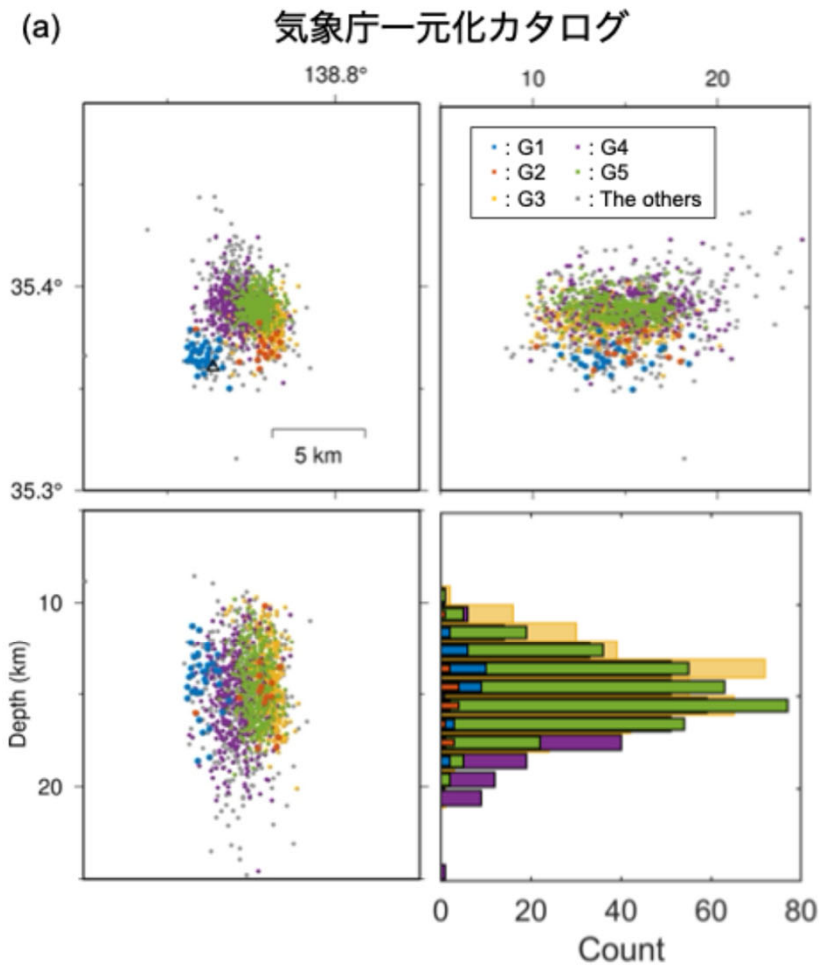
- ・研究所敷地内でのDAS観測



- ・深部低周波地震発生域直上での観測を計画中

- ・花火大会の規模に依存, 最大で 8 km ほど離れた地点まで観測
- ・火口想定域をカバーする最適な観測点配置を検討

## ・ 深部低周波地震の波形解析



- ・DD法による震源再決定の結果発生震度が15km付近に集約
- ・波形分類によるグループ分けが明瞭に発生場所の違いと対応